



波千鳥



まちづくり協議会
飯田公民館
だより

（発行）
飯田地区まちづくり協議会
飯田公民館
TEL 79-2251

飯田地区まちづくり協議会活動報告！

カーブミラーがピカピカに！

○10月15日（日）、飯田地区まちづくり協議会は交通安全協会玖珠支部飯田分会と、飯田地区内のカーブミラー・交通標語看板の清掃を行いました。

当日は生憎の雨天になりましたが31名の方々のご参加の中、東部・中部・西部の3地区に分かれ、地区内のカーブミラーを一つ一つ丁寧に綺麗にしていきました。参加された方は「普段、なんとなく見ているカーブミラーでしたが、改めてみると彼方此方に設置されていて驚きました。それに汚れていたカーブミラーが綺麗になると嬉しいです」と語られました。

私たちの生活を陰から支えるカーブミラー。綺麗になった姿を皆さん是非、見てみてください。



伝統野菜を使って料理する会

はんだベジたべる

～食べよう！伝統野菜～

参加者
募集！

飯田公民館では九重ふるさと自然学校と共催し、「伝統野菜を使って料理する会」「はんだベジたべる」を行っています。

今回、はんだベジたべるでは、第二回目の企画として、飯田に伝わる里芋の一種「マタグロ」を使った料理会を飯田公民館にて11月15日（水）、10時半から13時まで行います。

定員は12名 材料費として300円かかります。

申込み〆切は11月10日（金）まで。

詳細につきましては、今回同封しましたチラシをご覧ください。

○お問い合わせ申込み
飯田公民館0973-79-2251（伊東）



牛馬の境決め

○今回で第11回目の飯田歳時記はとある言伝えをお送りします。

飯田を構成する二つの大字「田野」と「湯坪」。この境目は奥郷地区と湯坪下地区の間を流れる古井川～玖珠川に沿って引かれています。

この境目はどのように引かれたのでしょうか？そこには「うさぎとかめ」の寓話に似た話が残っています。

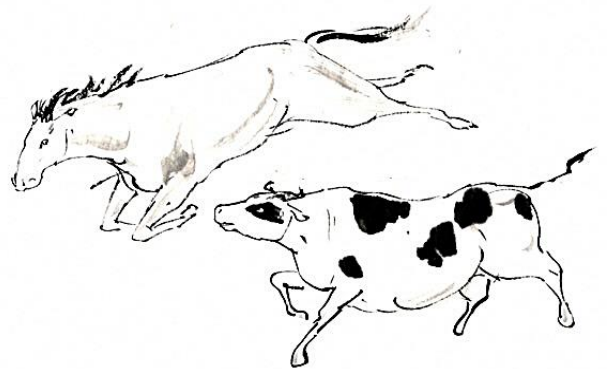
とある記録(1)によれば、

“田野村と湯坪村が両村の境を決める際、田野側は庄屋の家から牛に乗って出かけ、湯坪側は明福寺(2)という寺から馬に乗って出かけた。田野側が牛ででたとの知らせに馬の湯坪側は、「牛より馬んほうが早えぞ」と油断し、途中で一服したり馬に草を食わせたりしてのんびり進んだ。一方田野側はせっせと牛を歩ませた。おかげで馬がずいずんと湯坪側に寄った小さな峠にさしかかったときには牛の方は既に峠からぬっと首を差し出していた。これですいぶん田野側が広くなった。以後この峠を「牛首」と呼んだ

だが、これは田野側に残っている話で、湯坪側に言わせれば、全くの反対。どちらも牛で行くはずだったのに、田野側が馬で来たために牛首の峠で出会い、大損をしたという”

さて、以上が田野と湯坪の境目についてのお話です。皆さん様々な感想があるでしょうが、実はこの類のお話は日本全国的に見てみれば、類似した話が数多く見受けられます。例えば、佐伯市の水ノ子島(3)には佐伯藩と宇和島藩との領有争いの際、幕府が「一番鶏を合図に船を出して、先に島に着いた藩の領地とする」との裁定を下したところ、火を焚いて一番鶏を早く鳴かせ、船を出した佐伯藩が先に島に着き、この島を領有することになった」という話も残っています。

此处から先は想像になりますが、このような言伝え(口承：folklore)は基となる話から口から口へと伝承されるうちに脚色される場合もあるものの、基本的に「なぜそうなのか？」という疑問について回答であるという側面を持ちます。今回ご紹介したお話も、もしかすると何らかの出来事を基に、飯田高原内において大きく張り出した田野(または細長い湯坪)についての説明が追加されていながらできたものなのかもしれません。



(1) 九重町誌等

(2) 現在は存在しない。日向地区の屋号の中にその存在がみられるため、同地区にあったものか。

(3) 水ノ子島(みずのこじま)は、豊後水道の中央に位置する無人島である。大分県佐伯市に属している



飯田地区まちづくり協議会よりお知らせ

飯田歴史マップ資料募集中



飯田地区まちづくり協議会では長期計画として現在、歴史マップ作りを進めています。

飯田における様々な昔話、過去の様子のわかる写真や資料、詳細不明なもの等々、どのようなものでも大丈夫です。

皆さんの家に眠っている過去の様々な記録を残してみませんか？

○お問い合わせ

0973-79-2251 (飯田公民館内)



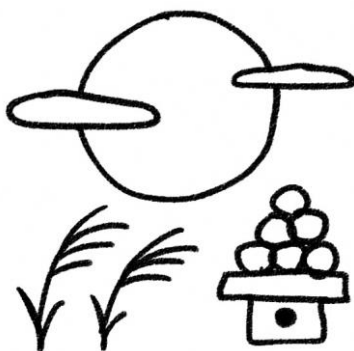
お月見探検隊

飯田高原お宝探検隊では10月6日（金）、湯坪下地区にてお月見探検を今年も実施いたしました。

ここ飯田高原では、昔から「名月様」といって、各家々では収穫への感謝の気持ちを込めて、とれた農産物や山の恵みをお月様にお供えする風習があります。これはお供えが終わったものを、近所の子供たちが「あげたへえ～さげたへえ～」（「お月様にあげましたか？それとももうさげましたか？」）と言って1軒1軒まわり、もらいに行くものです。この行事は、飯田高原では太平洋戦争を境に、徐々に廃れてしまったとのことでしたが、地域の方々の協力により復活したものです。

当日は生憎の天候でしたが、途中から真ん丸な満月が顔をだし、その下で子供たちが家々を回る声が彼方此方から聞こえました。お家を回った後には、基幹集落センターにてお月様に関する絵本を読んだりし、お月様に感謝の気持ちを捧げました。

今回、ご協力頂きました湯坪下地区の皆様ありがとうございました。



西部地区芸能祭レポート



9月21日、飯田西部地区において西部芸能祭が開催されました。

今年で、23回になる西部芸能祭。会場では様々な方が日ごろ練習した芸を披露したり、普段みせない姿で場を盛り上げたりと、今年も大いに盛り上がる芸能祭になりました。





旧飯田中学校運動場の愛称を募集中！

○飯田地区まちづくり協議会では現在、旧飯田中学校グラウンド（正式名称 飯田地区グラウンド）が地域のより多くの皆さまに親しみを持って利用し、気軽に口ずさんでいただける施設の愛称を募集します。ぜひご応募ください！

◇募集概要◇

- ・どなたでも応募できます。
- ・応募できるのは1人2点までです。
- ・応募者自身が創作した未発表のもので、他の著作物等を使ったり真似たりしていないものに限りします。

◇応募期間◇

平成29年10月17日～平成29年12月15日まで

◇応募方法◇

応募にあたっては、愛称（ふりがな）、愛称の説明（理由、意味など）、氏名（ふりがな）、年齢、郵便番号、住所、電話番号、高校生以下の方は学校名を明記のうえ、以下のいずれかの方法で応募してください。

応募用紙を応募箱へ投函（飯田公民館内に設置）
ファックス（0973-79-2251）

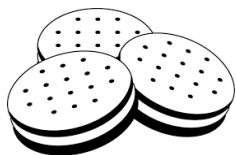
飯田カフェレポート＆ 11月のカフェのご案内♪

○飯田公民館では飯田小学校と共に月に一度の学校公開日に小学校のやすらぎの間にて、来校者へ無料でご接待するカフェをオープンしています。今回より公民館だよりにてその様子をご紹介します。

～10月のカフェ～

10月の飯田カフェは10月13日、校内話し方大会に併せてオープンしました。これまでカフェを支えてきた地域おこし協力隊の隊員さんが任期を終えたため、新体制となったカフェでしたが、今回も多くの方にご来店いただき、こども達の様子についてや日頃の四方山話等、和気藹々としたカフェになりました。

11月の飯田カフェは小学校のマラソン大会に併せて東部集会所にて出張オープンします♪



今月のスケジュール



18日 読み聞かせボランティア

（飯田小学校）

19日 脳いきいき広場

（飯田公民館）

20日 ナイター解放

（飯田地区グラウンド）

22-23日 ふるさと祭

（九重町役場周辺）

28-29日 ここのえ“夢”大吊り橋 フェス

（“夢”大吊り橋）

29日 第2回野上地区大運動会



5日 九重町飯田農協 農業祭

南山田げんき祭り （南山田公民館周辺）

15日 はんだベジたべる （飯田公民館）

16日 脳いきいき広場 （飯田公民館）

